

平成30年度第2回文化財保護委員会 抄録

(市民憲章昭和)

1 委員長あいさつ

2 協議事項

(1)今年度の安城市所在の指定文化財管理調査の結果について

【資料説明】 会議資料1のとおり

・1～3班に分かれ実施。

1班:和算免許状及び和算書の綴じ糸や緩みの修理。高棚薬師堂の薬師如来坐像の修理は地域の仏師の方が担当。椋山女学園大学の見田先生が監修予定。

2班:大岡白山神社は至急の応急修理が必要。同神社の繫虹梁の所在が不明。長因寺の野辺送り蓮台及び前卓の実測と拓本を9月23日(日)に実施。

3班:浄玄寺の六字名号は修理が必要。その他も数件が早急ではないが、修理が必要。

(委員)

- ・大岡白山神社は費用が高額であるため、地域の方々では支えきれない。しかし、見過ごすことができないほど劣化が進んでいる。また総交代時の引継ぎが十分でなかったため、繫虹梁の所在が分からなくなってしまった。そういった危険を回避するために、文化振興課から指導が必要。
- ・再建や修理などして綺麗になってから指定するという考え方は改善する必要がある。指定してから価値を損なわない修理をすることが必要。
- ・文化財の維持や修理には地域の経済問題が伴う。市の条例では支えきれないのであれば、どうすれば良いのか考える必要がある。
- ・修理などで費用を負担してくれる方々に還元していく仕組みが必要。

(2)平成31年度文化財関係事業の予算要求について

【資料説明】 会議資料2のとおり

- ・高棚薬師堂の薬師如来坐像の左手首と右耳の欠損部分の補修を、仏師は地元の方で、監修は椋山女学園大学の見田先生。
- ・浄玄寺の六字名号を10月12日(金)に墨仁堂に見積もりを作っていただく。浄玄寺は補助金を受けて修理を希望。
- ・蓮泉寺の方便法身尊像と九字名号は資金集めに時間が掛かるので、平成33年度の台嶺150年忌に合わせたい。
- ・大岡白山神社は暫定修理として見積もりを作っていただく。
- ・郷土誌出版奨励事業は文化財保護委員会が審査を行う。平成31年度はないが、平成32年度は箕輪町と和泉町が申請予定。

- ・文化財悉皆調査は、今年度で岩田副委員長が担当していた神社建築や寺院建築の調査完了。来年度から鷹巣委員に元請けとなっていただいで社寺の美術工芸品の調査。

(委員)

- ・高棚薬師堂の薬師如来坐像の修理を地元としては仏師に依頼したいとのことだが、その仏師の方が今まで修理してきたものを確認して欲しい。山崎隆之先生にも話を持ち掛けて欲しい。

(3)新規市指定文化財候補について

(事務局)

【資料説明】 会議資料3のとおり

- ・安城市立安城北部小学校のヒツバタゴは地元で有名な樹木なので、市指定天然記念物に指定できないかという話がきている。天然記念物の指定基準の1つである名木に該当できるかどうか。
- ・天然記念物の指定基準を作成してからは樹木を指定していない。

(委員)

- ・安城北部小学校のヒツバタゴは学校のシンボルであり、地域に愛される樹木であるので、名木という評価は可能だと考えられる。
- ・一時期樹勢が弱ってしまったが、樹木の周囲に柵を設けるなどして地域で守ってきた歴史があるので、名木と評価できる材料を集めて指定する方向で考えていきたい。
- ・天然記念物の指定基準に更に数値的条件を加える。

(4)姫小川古墳崩落防止対策検討会議

(事務局)

【資料説明】 会議資料4のとおり

- ・排水溝を設けて、雨が流れて墳丘を削らないようにする。
- ・保護層を設けるが、その際に墳丘本来の形状を発掘調査で分かった範囲で復元する。

(委員一同)

- ・了承

(5)その他

(委員)

- ・文化財保護条例を変えて、新たなジャンルを加えることを考えたい。
- ・地域では支えきれない文化財保護の問題を考える必要がある。

3 報告事項

(1) 博物館協議会との合同研修会について

(事務局)

【資料説明】 会議資料5のとおり

11月16日(金)に実施するので参加呼びかけ。

- ・重要伝統的建造物群保存地区、町並み保存地区「有松の町並み」
- ・長久手古戦場公園
- ・長久手市郷土資料室

(2) 第13回安祥文化のさとまつり

(事務局)

- ・9月29日(土)9月30日(日)を予定していたが、30日(日)は台風接近による警報発令で中止